

# 水稻の生育状況と当面の対策

臨時報  
千葉県農林水産部  
平成27年5月22日

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

## 生育の進みは早く、茎数は非常に多い 間もなく中干し開始時期に

### [ 生育概況 ]

今年は4月上旬の低温を除き、3月下旬以降気温が高く、苗の生育は概ね順調でした。

移植後は4月中旬から続く高温多照傾向のため生育は早く、特に4月20日頃までに移植したほ場では茎数が非常に多くなり、旺盛な生育となっています。

ただし、5月以降に移植した一部のほ場では、台風の影響等により、一時的な生育停滞が見られています。

表1 品種別の生育状況（5月20日現在）

品種	植付時期	平年比※		
		葉令の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	4月20日頃	早	やや高	多
ふさこがね	4月20日頃	早	やや高	多
コシヒカリ	4月20日頃	早	やや高	多
	5月1日頃	早	やや高	多
ふさのもち	4月20日頃	早	やや高	多
	5月10日頃	やや遅	並	並

※過去5か年（2010～2014年）の平均値との比較

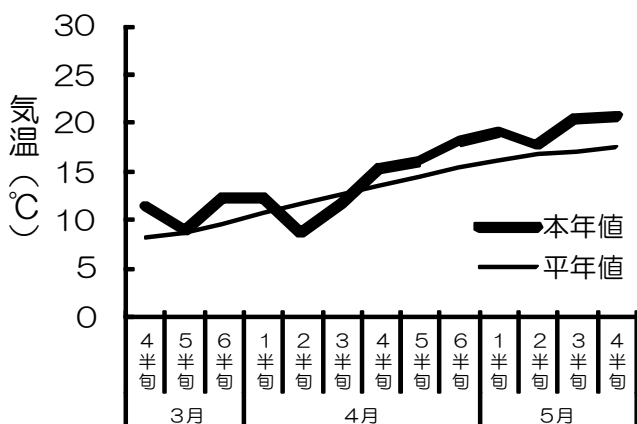


図1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉市）

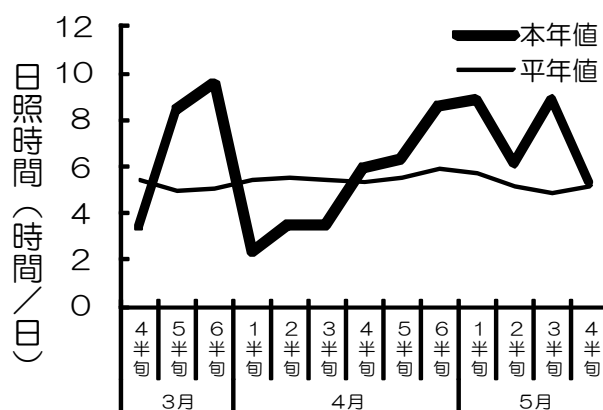


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉市）

## [ これからの管理のポイント ]

### ■早めにほ場を確認し、中干しを遅れずに実施

移植時期が遅かったほ場を除き、平年よりも早く中干し開始目標茎数に近づいており、茎数が過剰になる恐れがあります。

茎数過多は玄米品質低下の原因となるので、「表2」の中干し開始時期の目安を確認し、目標茎数に達し次第中干しを開始して、過剰分げつの発生を抑えましょう。

特に、コシヒカリは倒伏防止のため、ほ場ごとに茎数を確認し、中干しを遅れずに開始しましょう。

排水しにくいほ場では、中干し開始数日後に溝切りを行うと効果的です。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup>	310本/m <sup>2</sup>	300本/m <sup>2</sup>
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある

### ■適期の害虫防除

5月14日発行の病害虫発生予報第2報では、イネドロオイムシの発生量はやや多くなっています。また、イネクロカメムシ等の害虫も気温が高いとほ場への侵入が早くなりますので、ほ場をよく観察し、適期に防除を行いましょう。



図3 ふさこがね（4月20日植え）農林総合研究センター（千葉市）  
5月20日撮影、中干し開始直前の状況

次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、6月3日に発行予定です。

## 飼料用米に取り組んで、収入額を確保しましょう！

主食用米の状況は以下のとおりです。

主食用米として作付けた稲を飼料用米に振り替えて、収入額を確保しましょう！

- 民間の在庫見込みは、昨年より**10万トン多い**230万トン  
220万トン(平成26年6月) → **230万トン**(平成27年7月)
- 国内の需要量は**毎年8万トンずつ減少**
- 今年産の米価の重要な指標となるコメの先物取引の価格は、昨年とほぼ同額で、**低調に推移**

- ◆市町村から国への申請期限は、**6月末まで**です。飼料用米への振り替えは早めに市町村へ相談してください。
- ◆飼料用米の産地交付金、**国・県・市町村の助成金が入金するまでの資金繰り**(肥料・農薬・資材等の経費支払い)については、最寄りのJAIにご相談下さい(**低利のつなぎ資金**等をご用意しています)。

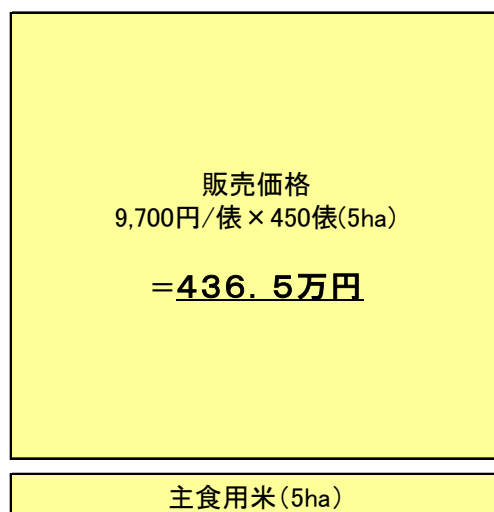
### 飼料用米の取組シミュレーション

#### 試算の条件

・水田の経営規模	5 ha(全量コシヒカリを栽培)
・生産数量目標(面積換算)	3 ha(転作率40%)
・10a当たり収量	9 俵(540kg)
・主食用米販売価格	9,700 円/俵
・飼料用米販売価格	600 円/俵
・地域の標準単収値を540kgと設定	

#### パターン1

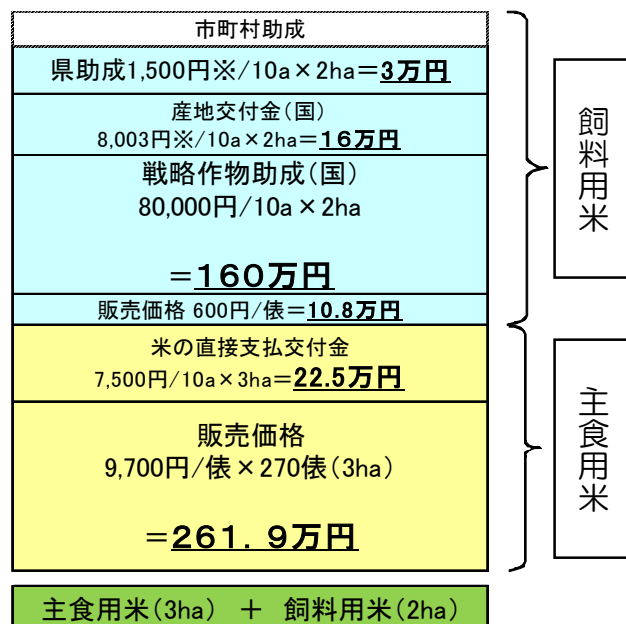
全量を主食用米で生産



収入額 **436.5万円**

#### パターン2

生産数量目標に従って主食用米を生産し、  
残り2haを主食用米を飼料用米に振り替えた場合



収入額 **474.2万円**

差 **37.7万円**

※県助成、産地交付金は平成26年産の実績で試算しています。